

51.2.1

藤巻 だより

静かな環境を守り
高速道路に反対する会

第二回総会開催 昭和51年1月25日 水野宏 名大教授 講演「高速道路に伴う公害について」

早川委員長より水野教授の紹介があり、公害についてのお話が約1時間にわたってありました。私共には大変役立つ具体的なお話で、名古屋市内に高速道路は、人間の生命・健康を考えると必要ないと思いました。高速道路ができて、自動車による大気汚染・騒音・振動の公害が起ってしまったらどうにもなりません。経済政策の計画による都市計画をするのではなく、われわれの生命・健康を判断の基準にしなければなりません。生命・健康といふ単に肉体的・生理的の面だけでなく、知的(読書ができて、思考がすること)・情緒的(美しいと感じ、楽しく音楽が聴け、おろつた心をむかえること)・社会的(人と会話ができて、電話で話し合えること)・創造的(物を造りだす考え、集中力が保てる)機能が妨げられないか判断する。

高速道路公害 { 騒音公害 — 道路の構造により異なる。地下式の場合は解消する。
大気汚染 — トンネル式になった問題が残る。

騒音が人間に与える影響については(人によりちがいがあがる)

- 40 ~ 45 ホーン 住民の25% が情緒的に影響を受ける
- 45 ~ 50 ホーン “ 日常生活に訴えをかける
- 50 ~ 55 ホーン “ 生理的影響を受ける(頭痛がし、睡眠を妨げられる)
- 60 ホーン以上になると100%の人が情緒的・知的にも日常生活に影響を受ける。

道路公団のパンフレットの騒音分布図にも道路と敷地の間では60~70ホーンで、400メートル離れた所で基準をオーバーしている。

大気汚染については、排気問題があり、窒素添加物、二酸化窒素の話があり、四日市ヒンソクの原因が亜硫酸ガスといわれているがそれのみでない。亜硫酸ガスは浮遊煤塵について人体に入るが、排ガス中の二酸化窒素はそのまます人体に入る。そして呼吸気管系の病気に罹りやすくなり、慢性気管支炎(ヒンソク)、インフルエンザの流行のもとになる。人によりちがいがあがるが子供と老人がいちばん影響を受ける。名古屋市の5つの測定地点で現在でも毎日基準をこえている。

自治体が事前調査をし数値を出すべきで、名古屋の場合は愛知県がやるべきである。

以上のようなお話でした。

- ・〈来賓〉 県会議員 筒井氏、市会議員 本谷氏、渡辺氏(代理)、協議会 藤氏
- ・早川委員長 挨拶 スジを通じ息長く闘おう。
- ・運動本部 鈴木氏 現状報告 素案が厚案になりかかっている。

次ページに続く

各部長報告

- 交渉部 池田氏
- 広報部 磯部氏
- 調査部 宮下氏
- 研究部 渡辺氏
- 連絡部 柘植氏

2月市議会前に反対折衝
 「藤巻R1」の発行、反対看板の設置増
 資料つくりをすめるべく情報提供のお願い
 騒音・大気汚染測定、基礎資料の作製
 1月18日、公害調査団とととに写真・地図にて説明、3月に公害反対地区の見学会をむす予定

・財務部 加藤氏より42次決算報告、田島氏より監査報告

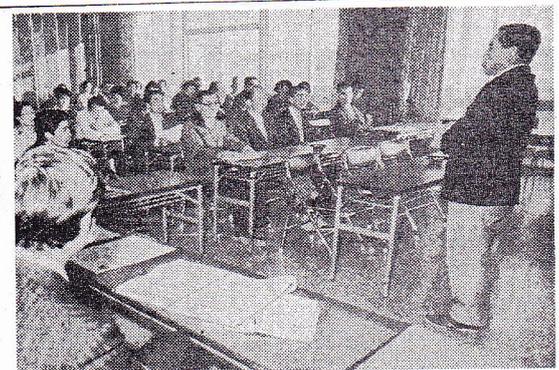
昭和51年度予算案の承認、会費を1か月500円、2か月分1000円ずつ奇数月1日~5日に徴集
 (RDL 1・2月分は2月に、3・4月分は3月に集めず)

・早川委員長より提案の 名古屋高速道路反対連絡協議会に加盟 賛成(加盟費 月2,000円)

・その他

以上 総会の報告

中日新聞(二月二十六日)



「静かな生活環境を守ろう」と総会で新鏡ヶ池線高速道路の反対運動を確認する地元民—名古屋区高針で

「静かな生活環境を守ろう」と総会で新鏡ヶ池線高速道路の反対運動を確認する地元民—名古屋区高針で

「藤巻町に高速道路が来なければ、それでよいのか」「過激なことをしなさい」といふ声もあつた。役員にも「基礎はほぼ、固まった。本腰入れ、具体的な活動を始め」といふ。総会に先立、水野宏文教授

名古屋都市高速道路の新鏡ヶ池線建設に反対する名古屋区藤巻町の市原案を決める来月末の市議会に「静かな環境を守り高速道路に反対する会」(皇川文夫会長、百三十三世帯)は二十五日午後、二丁目十世帯の会館で、名古屋都市高速道路反対連絡協議会(大川浩正会長)の総会を開き、「スジを通し、騒音・大気汚染を減らし、生活環境を守ろう」と決めた。同会は昨年十月に発足。住民に知識人が多いせいか、組織、運動方法、予算など、地域運動としてはまれなほど、しっかりした基礎固めをしていたが、いよいよ本格的な活動に入った。

一日の総会には住民約六十人が参加し、運動本部以下、交渉、連絡、広報、調査、研究、財政の各部が、五十一年度の計画案を発表し「スジを通し」をテーマに、反対運動の進め方を説明した。

スジを通して闘う

新鏡ヶ池線 住民が総会で確認に反対の会

(環境衛生)が「高速道路の公害」として講演し「道路が仮

にトンネル式になっても大気汚染の問題は残る。県、市は事前調査を十分、すすむ」と他都市の例を引き、示唆した。

鏡ヶ池線は、当初、東山動植物園の北側を通るルートが計画されていたが、その後、園側の藤巻町を通るルートに変更された。市が原案を作成、二月の市議会に予算を得る段取りになっている。

財務部よりのお願い!!

去る1月25日開催の第2回総会において昭和51年度予算が承認されました。RDLの通常会費を下記要領に2集金させていただきます。

1. 集金は2か月分1,000円を単位とします。
2. 集金は奇数月の1~5日の間に前回の財務部員がお伺い致します。RDL6組は一柳貢氏を新しく財務担当に任じます。
3. 本年1・2月分は総会のお次関係上2月1~5日に、3・4月分を3月1~5日に集金させていただきます。
4. 領収書は前回とはほぼ同じ様式のものに印刷し、各組担当の財務部員が記名押印したものをお受け取り下さい。